



景観教室レポート

宮崎市立国富小学校では、平成24年1月27日、2月2日の日程で景観教室を開催しました。
この教室では、(社)宮崎県建築士会みやまきけんけんちくしかいの皆さんの協力のもと、6年生(128名)が景観を学び、自分たちのまちについて知り、まちの将来を考えることができました。

第1回「景観を知る」 1月27日(金)5・6時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は、建築士会福添さんより、「景観とは何か？」という内容で基礎的な説明が行われました。

★ 授業のポイント

- ① 景観をつくるもの：自然、建築物、看板、芸術、産業(農業・工業)、歴史・・・



自然



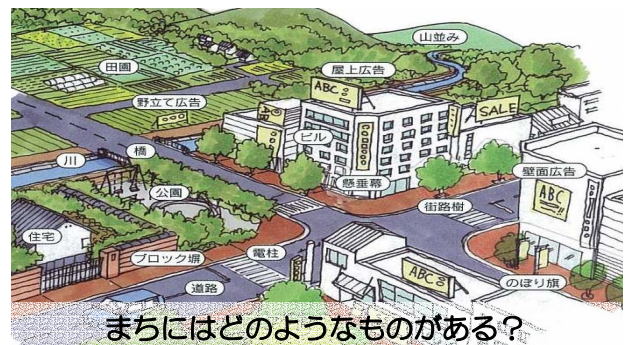
まち



建築

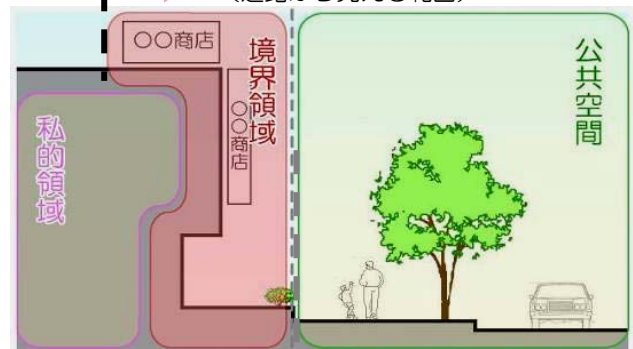


産業



まちにはどのようなものがある？

景観では、みんなの空間
(道路から見える範囲)



一人ひとりの財産
(家・商店・庭など)

みんなの財産
(道路・公園など)

② 景観 = まちの顔 ・ 特色

- ・ 市民の財産
- ・ 美しい景観は、みんなが力を合わせてつくる、守るもの・・・

★ 授業の様子



真剣に聞いていますね



福添さんの授業
とっても分かりやすい



授業をしていただいた
建築士会の皆さん

■ マインドマップづくり

後半は、「マインドマップ(連想図)」をつくりました。マインドマップとは、マインド(こころ)に思う言葉を、マップ(地図)のように自由に書き、イメージをふくらませる作業です。

授業では、「国富と本郷」から連想される言葉を、各グループ約200~300語、書いてもらいました。
(裏面につづく)

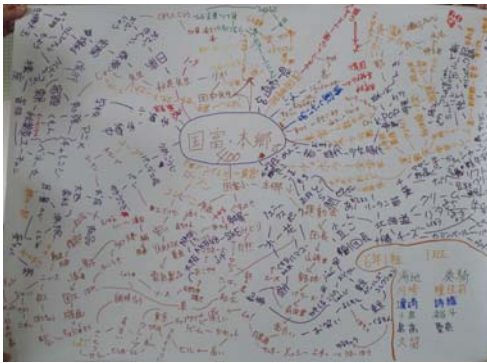
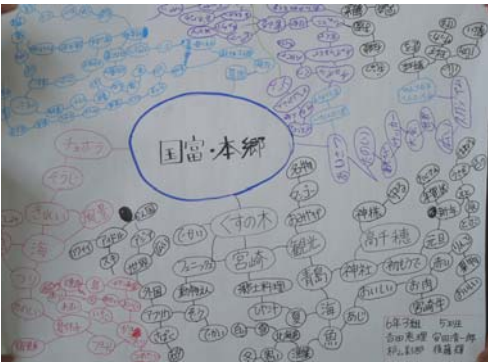
★マインドマップづくりの様子



国富・本郷… 言葉が次々と出てきます♪



代表グループによる発表



出来上がったマインドマップ

くすの木、加護神社、豆田川、バイパス、空港、国富団地… 「国富・本郷」に関する言葉がたくさん書かれています。

第2回「景観を考える」 2月2日(木) 7時間目

■ 心に残る景観を見直してみる

「国富・本郷」の身近な景観について、一番好きな景観、好きな理由、どうやって守り残すかについて考えました。

★一番好きな景観

- ・学校の木「くすの木」と加護神社
- ・東宮団地や国富団地など家の近くと公園
- ・南バイパスと周辺の田畑

★好きな理由

- ・くすの木は学校のシンボル、とても大きく見えるから。
- ・くすの木は見守ってくれている感じがあるから。
- ・加護神社は鳥居に迫力があり、力強い光景だから。
- ・空港は花々がたくさんあり、宮崎らしいから。
- ・公園はいつも遊んでいて笑顔があふれているから。
- ・バイパス周囲の田畑はやさしい雰囲気があるから。

★どうやって守り残したいですか？

- ・ゴミや落ち葉を拾って美化に努める。
- ・田や畑には大きな建物が建たないようにする。
- ・花や木を植えて、みんなが楽しいまちにする。
- ・くすの木の大切さは低学年にも伝えていきたい。

★最後に、福添さんが授業のまとめをしました。

- ・景観はまちの特色である。
- ・景観は遠、中、近がある。
- ・景観は人が感じるもの、人が関わるもの。
- ・景観は人が守り継続していくもの。



くすの木、加護神社、バイパス…
いろいろ思いつきますね。



■ 講師 宮崎県建築士会 福添さんの感想

国富・本郷地区は緑や水を感じることでできる豊かな自然、そして大規模な住宅地域として特徴のある景観を有している風土があります。児童さん達は大変真摯に授業に取り組み、講師である私を見つめる真剣なまなざしから感じることができました。

景観教室で最も伝えなかったことは、景観は人の心に残り、人が守っていくものであるということです。最後の授業でのみなさんの回答でもそれが伝わり、たいへん嬉しく感じました。ありがとうございました。

国富小学校景観教室 講師 宮崎県建築士会 福添 勝郎